

藤沢東ロータリークラブ 週報

2017-2018

Rotary Club of Fujisawa East Weekly Report



ロータリー：
変化をもたらす

☆会 長／山口俊明 幹 事／吉田新一 例 会／毎週火曜日 12:30～

☆事務所／藤沢市南藤沢 4-2 吉田ビル5F TEL 0466-41-9191 FAX 0466-41-9192

☆例会場／湘南クリスタルホテル 藤沢市南藤沢 14-1 TEL 0466-28-2111

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

第 1985 回例会 2017 年 8 月 8 日 (火) (天候) 晴れ No.6

点鐘 開会 クリスタルホテル3F「フォンテーヌ」
Fontaine

ロータリーソング：「奉仕の理想」

ゲスト・ビジター

ゲストスピーカー

座間邦夫 様 (県社会人野球審判員)

ゲスト 座間幹夫 様 (全日本居合道連盟)

バナー交換 なし

会食・懇談

-会長報告-

- ・台風も通過しまして例会も通常どおり開催できました。日本三大台風は御存じでしょうか。伊勢湾台風(1959年9月)、室戸台風(1934年9月) 枕崎台風(1045年)です。
- ・8月26日世界米山学友による「感謝 in 熊本」が開催されます。
- ・米山財団設立50周年式典があります。日時は2018年2月4日、場所はグランドニッコー東京台場です。登録料会員1万円、学友・奨学生5千円
- ・本日の例会よろしくお祈いします。

-表彰&特別挨拶- なし

-幹事報告-

- ・地区米山奨学セミナー&カウンセラー研修会開催のご案内です。日時：2017年8月26日(土)13:30~16:30 場所：藤沢商工会館ミナパーク6F「多目的ホール3」 会長・幹事で出席予定です。
- ・平成29年度藤沢地区薬物乱用防止街頭キャンペーンの開催通知が届いております。場所 藤沢駅北口サンパール広場及び藤沢駅南口自由通路

- ・本日、会員手帳2017年度版を配布しました。新会員の方はメの関係で今回掲載できませんでした。
- ・慶弔見舞規程及び時間外事務局対応に対する謝礼に関する取扱要領を配布しました。8月29日(火)例会時に臨時クラブ協議会を開催の上、議決していきたくいのでご確認願います。
- ・例会変更のお知らせ
藤沢西RC 8/10(木)、8/17(木) 休会
8/31(木) 夜間移動例会
大和西 RC
8/22(火) ⇒ 夜間移動例会(2600回記念例会)※ビジター受付は行いません。

-委員会報告-

- ・出席報告 出席委員長
- ・スマイル報告 管理運営委員長

-会員&配偶者誕生日-

会員誕生日、配偶者誕生日 なし

-卓話-

「審判から見た野球の世界」

座間邦夫様

(日本野球連盟 規則審判委員)

点鐘

閉会



出席報告

例会月日	総員(名)	出席(名)	欠席(名)	出席率(%)	メークアップ(名)	修正出席率
7月25日	33(30)	27	6	90.00	1	93.33
8月8日	36(33)	22	14	66.67		



-スマイル-

村木スマイル委員長



【山口俊明 会長】

座間邦夫様、本日の卓話よろしくお願い致します。楽しみにしておりました。座間幹夫様ようこそおいで下さいました。日ごろはいろいろとお世話になり、感謝申し上げます。

【鈴木和夫 会員】

座間様、いらっしゃいませ。いつもお世話になっております。邦夫さんの卓話楽しみにしています。

【小柴智彦 会員】

座間様、本日の卓話よろしくお願い致します。今月のガバナー月信の委員長として私の抱負が掲載されました。読んでおいて下さい。

【片倉昌幸 会員】

座間様、本日の卓話楽しみにしています。宜しくお願い致します。

【吉田新一 幹事】

座間邦夫様、本日の卓話よろしくお願い致します。座間幹夫様、御多忙中、藤沢東RCへお越し頂き、ありがとうございます。ニコニコボックス（当コラムのスマイル）を戴き、ありがとうございます。

-出席報告-

狩野副委員長



「台風の予報のせいか、ちょっと出席率が良くないです。」

新会員歓迎会について

田中繁管理運営委員長



「3名の方の新会員が入会しましたので、できるだけ早い時期に開催したい。就きましては、以下の日程で行います。日時：8/29（火）18:00～場所：まさかり（南藤沢 4-2 吉田ビル4F）後程、事務局よりメールリングリスト等で展開しますのでよろしくお願い致します。」

卓話者紹介

山口会長



「座間邦夫様の紹介ですが、本日ゲストのお父様の座間幹夫様の紹介によるものです。また、8月29日の卓話者本阿彌光次先生も座間幹夫様の御紹介によるものです。座間様とは湘南信金の役員会等を通じて長いお付き合いです。旅行協会の会長でいろいろと楽しい旅行を企画して参加させて頂いております。

その中で、私も野球経験があり、それなら息子さんが公式の審判を務めているので審判側から見た野球の世界を話して頂きたいとのことで、座間邦夫様の本日の卓話に繋がりました。

審判も都市対抗野球から全日本クラブ選手権ひいては、国際大会も U-16 世界大会など多数の経験をしていらっしゃいます。

改めて、野球を勉強させて頂こうと思えます。

よろしくお願い致します。」

「審判から見た野球」
座間邦夫様（日本野球連盟 審判員）



こんにちは。座間と申します。本日はお招き頂きましてありがとうございます。「審判員」についてでございますが、本来審判員が（試合中）このようにマイクを使う際はあまり良いことではありません。「球審の座間でございます。只今のプレイについて・・・」そのため、マイクをもつことに慣れていません。今日は貴重なお時間を頂戴しまして、ちょっと野球の話をしていきたいと思っております。

お手許の方に、私の簡単な略歴を配布させて頂きました。山口会長は甲子園球児でもあり本格的な野球の経験者ですが、私は実は野球選手としての経験はありません。私の息子が中学校の時に硬式野球のリトルシニアのクラブチームに入ったことがきっかけで、いろいろと手伝いをするうちに審判をすることになり、気が付くと審判をして16年が過ぎました。

野球が大好きだったので審判を数年間行っておりましたが、そこで出会ったのがシドニーオリンピックでジャッジをしていた小山克仁氏で、私の同級生で当時彼はアマチュア審判歴14年のベテランでした。みなさんがご存知の野球のルールなど全てを把握していて、お話をした際に、「野球とは？」という野球の自分の常識を覆される程の知識をもたれていました。

そこで私も詳しく野球を知りたい、ということで野球にのめりこんでいきました。今現在はリトルシニア、アマチュア世界大会、都市対抗野球等を行っています。一番近い国際大会は2014年韓国仁川で行われたアジア大会決勝韓国対台湾の試合を審判しました。

現在審判として試合をジャッジしているのが年間約100試合ほどです。3日に一度行っております。父の前ではちょっと言い難いですが、店を抜け出して試合に出ています。

まず、野球の歴史とルールですが、棒切れと球ころで遊んでいたのは古代エジプト時代です。これは今の野球とはちょっと違います。現代の野球の元になるゲームは1800年頃にイギリスとアメリカにて行われたのが始まりとされています。イギリスでは、靴下に石ころを詰めて丸めたものを杖で打って、4つの杭を廻って帰ってくる、という今の野球に近い形でした。

アメリカではタウンボールができて、町々に野球チームができると試合を行う際に、勝ち負けで賭け事を行うようになり、楽しんでいた野球がだんだんシビアな世界になってきた。誰か勝ち負けを裁く人はいないかということで、村長に判定を委ねるようになった。村長は嘘をつかない、信頼できる人なので公平な判定をしてもらえとの事だった。

その当時の村長や市長はブルーのジャケットを着ていた。その名残りで今の甲子園審判はジャージですが、以前はブルーのジャケット着用で審判を行っていました。

審判はなぜ発生したのか？審判に注目が行くのは、1、2分です。際どいケースで判定するときだけです。普通はいらぬ状態が多いです。セルフでジャッジができるからですが、際どいコースのボールについてバッターはボールだと思うし、ピッチャーはストライクだと思う。そこでお互いに言い合いにならないように判定するのが審判です。

審判は絶対だという人がいますが、絶対ではないです。選手が自分達では結論がでないので第三者として教えて下さい、とお願いした人が判定する。

野球のルール 1845年に州毎にルールが違うのはマズイということで、アレクサンダー・カートライトという方が20個のルールを作りました。規則というものはだんだんと増えていくのが常です。

選手は勝ちたいがためにいろいろな工夫を凝らしますがそれを規制するルール「ペナルティのルール」ができます。反則行為に対するペナルティのルールであると共に野球を楽しくするルールでもありました。

例えば、スリーストライクになると1アウトになるルールは、元々バッターが打てる位置に投げる際に、バッターが敢えて打たないこ

に対して「打て」という意味で「ストライク」と言い続けてきた。実は「ボール」のルールは「ストライク」のルールの5年後にできました。この頃から下手投げから横手投げに変わっていきました。「指定したところに投げろ」という意味で指定外の球を「ボール」と判定します。

そのため、我々審判は、「ストライク」はバッターに向かって「打て!」という意味で判定し、「ボール」はピッチャーに向かって「ストライク投げろよ!」という意味で判定しています。

サイドスローになってコントロールが悪くなって指定したところにボールがなくなってしまうようになってきたので、9ボールで進塁ができるようになった。それが技術の進歩で4ボールで「ファールボール」ルールが19年後に確立された。そこで始めて3ストライクと4ボールの現在のルールができた。

野球は9イニングですが、「イニング」は3アウトで攻撃と守備が変わります。元々、ピッチャーがホームに野球の試合に来るとコックさんが食事の準備をします。その当時21点取った方が勝ちでしたが時間がかかる。コックさんがお昼ご飯を作る時間が大体9回のイニングにあたり、そこで勝ち負けを判定するようになった。

日本の野球特に高校野球などは、1点取って守り勝ちの野球が強いですが、アメリカでは1点取られたら1点多く取り返す野球、というところが日本の野球との違いです。

昔の高校野球は、ランナーが出るとバント等で進塁させ、3塁にランナーがいると「スクイズ」する場合があります。本来「スクイズ」は「搾り取る」意味で、同点で決着がつかない時に点を搾り取る際の手段でした。

日本の高校野球は、先攻後攻を決める際にジャンケンで勝ったら後攻を選択する人が多い。本来アメリカでは攻撃しているときが楽しいので、ピッチャーに先に楽しんでください、ということで攻撃権を譲るのが常です。日本の高校野球は、勝ちに拘る為に後攻を選択するところが違います。

日本の野球についてはこのような野球の歴史を踏まえて指導していかないと、どうしても勝ちに拘り過ぎて、なかなか変わっていかないのが現状です。

審判員の存在は、第三者として依頼される人であるため、海外の試合では両チームが並んだあとに審判が紹介する。審判が全ての選手に敬意をもって向かい入れられる。「今日は僕たちの試合をよ

ろしくお願いします」と迎えてもらう。日本の野球は審判が待っていて選手を迎える、という形式です。これは本来逆です。これは審判の存在が認められていない現実です。

メジャーリーグではボール・ストライクの判定に対してバッターが審判に振り向いて抗議することは退場に等しいルールです。例えば、教師が生徒に向かって廊下にたっている、という感じです。日本では、バッターに不利な判定と思われたら一生ずーっと根に持たれます。

2009年にU-16世界大会の台湾対ベネズエラ戦で、判定に抗議した選手を始めて「退場」にしました。翌日のベネズエラ戦の試合で選手から「昨日はごめんなさい」を謝られました。海外の選手は試合には熱中しますが、翌日になると気持ちを切り替えてまた試合に臨みます。そこが日本とちがうところです。国際野球の方が審判はやり易いと思います。

実は、公式審判員は55歳で定年ですので私も同様です。2020年の東京オリンピックは明治大学出身の山内さん(45歳)が行うと思います。会場は横浜球場をメインに行われますので是非見に行かれたら、と思います。

国際野球に関しては、WBSCとしてソフトボールと手を結び2020年に開催国権限でオリンピック復活しましたが、2024年では競技から外れるよそうです。今度外れたら2度とオリンピック競技にできません。危機感をもって、アフリカ等の世界で野球の普及活動を行っております。

-質問- 座間幹夫 様



「先日の都市対抗野球で息子が審判していて内野ゴロで、1塁方向に走っていった。何故審判が1塁まで行く必要があるのか？」
A「バッターランナーが1塁へ走る際に決まった走路を逸脱して守備妨害になっていないか等を確認するためです。」座間邦夫 様